



2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月13日

上場会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3446 URL http://www.j-tec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津村 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 平井 靖人 TEL 072 (655) 2785
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の業績 (2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年6月期第1四半期 | 73 | △48.1 | △132 | — | △144 | — | △102 | — |
| 2019年6月期第1四半期 | 141 | △61.7 | △46 | — | △3 | — | △3 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年6月期第1四半期 | △17.47 | — |
| 2019年6月期第1四半期 | △0.58 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年6月期第1四半期 | 2,694 | 2,350 | 87.2 |
| 2019年6月期 | 2,871 | 2,447 | 85.2 |

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 2,350百万円 2019年6月期 2,447百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年6月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2020年6月期 | — | — | — | — | — |
| 2020年6月期 (予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 (累計) | 450 | 150.0 | △81 | — | △82 | — | △56 | — | △9.70 |
| 通期 | 1,450 | 12.9 | 278 | △36.2 | 302 | △39.1 | 208 | △37.2 | 35.73 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------------|------------|----------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年6月期1 Q | 5,846,000株 | 2019年6月期 | 5,836,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年6月期1 Q | 20株 | 2019年6月期 | 20株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年6月期1 Q | 5,844,545株 | 2019年6月期1 Q | 5,776,963株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調で推移したものの、消費税増税を前にした個人消費マインドの弱まりが見られるとともに、米中貿易摩擦をはじめとした不安定な海外政治情勢の影響により、先行きが不透明な状況となっております。

このような経済環境のなかで当社は、オプティカル事業及びライフサイエンス・機器開発事業という独自の技術を利用した二つの事業により、営業基盤の強化と拡充に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高73,204千円（前年同期比48.1%減）、営業損失132,899千円（前年同期は46,033千円の損失）、経常損失144,758千円（前年同期は3,312千円の損失）、四半期純損失102,088千円（前年同期は3,345千円の損失）となりました。

セグメントの経営成績は、次の通りであります。

(オプティカル事業)

当第1四半期は、ドイツ（施設：EU-XFEL）向けの売上が多くを占め、次いで国内（施設：SPRING-8、SACLA）向けの売上が業績を牽引しました。

当事業年度は、前事業年度と同様に第4四半期に売上が偏重すると見込んでおります。前事業年度に引き続きアメリカや中国向けの割合が大きくなる予定であり、国内向けの割合も増える予定であります。また、特に海外向けの案件につきましては、受注時期から当社製品の平均リードタイムである約1年を経過するのが第4四半期に集中することから、第4四半期での売上が大きく見込んでおります。

当第1四半期においては、売上は当初から大きく見込んでおらず、主に納品に向けての製造活動及び新規事業関連の研究開発活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は55,663千円（前年同期比59.2%減）、セグメント損失は32,539千円（前年同期は49,211千円の利益）となりました。

(ライフサイエンス・機器開発事業)

当第1四半期の売上は当初から大きく見込んでおらず、機器開発関連による売上が多くありました。これらは主に、水晶振動子ウエハ加工の試作装置やグラビア印刷試験機（GP-10）のOEM販売によるものであります。

この結果、売上高は17,541千円（前年同期比278.3%増）、セグメント損失は27,974千円（前年同期は33,353千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,227,850千円となり、前事業年度末に比べ379,577千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が37,793千円増加した一方で、受取手形及び売掛金（主にオプティカル事業関連）が383,811千円減少したことによるものであります。固定資産は1,466,548千円となり、前事業年度末に比べ202,429千円増加いたしました。これは主に建設仮勘定に計上していた新社屋（本社棟・加工棟・計測棟）が完成・稼働開始したことに伴い、建設仮勘定が581,421千円減少した一方で建物が638,391千円増加したこと、旧社屋の土地を購入したことに伴い、土地が68,409千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,694,398千円となり、前事業年度末に比べ177,148千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は286,764千円となり、前事業年度末に比べ59,748千円減少いたしました。これは主に未払金の増加に伴い流動負債（その他）が48,421千円増加した一方で、未払法人税等が129,564千円減少したことによるものであります。固定負債は57,435千円となり、前事業年度末に比べ19,951千円減少いたしました。これは主に資産除去債務が12,272千円及び長期借入金金が7,500千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は344,199千円となり、前事業年度に比べ79,699千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,350,198千円となり、前事業年度末に比べ97,448千円減少いたしました。これは主に四半期純損失を102,088千円計上した一方で、新株予約権（ストックオプション）の行使により、資本金が2,320千円及び資本準備金が2,320千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年8月9日の「2019年6月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年6月30日) | 当第1四半期会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 839,190 | 876,984 |
| 電子記録債権 | 5,609 | 1,311 |
| 受取手形及び売掛金 | 567,810 | 183,999 |
| 商品及び製品 | 19,003 | 15,671 |
| 仕掛品 | 64,188 | 94,337 |
| 原材料及び貯蔵品 | 14,347 | 16,854 |
| その他 | 97,277 | 38,691 |
| 流動資産合計 | 1,607,427 | 1,227,850 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 186,327 | 824,718 |
| 機械及び装置（純額） | 135,503 | 138,519 |
| 土地 | 250,570 | 318,979 |
| 建設仮勘定 | 657,073 | 75,652 |
| その他（純額） | 12,333 | 41,620 |
| 有形固定資産合計 | 1,241,808 | 1,399,490 |
| 無形固定資産 | 3,382 | 8,775 |
| 投資その他の資産 | 18,928 | 58,282 |
| 固定資産合計 | 1,264,119 | 1,466,548 |
| 資産合計 | 2,871,547 | 2,694,398 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 20,182 | 10,198 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 15,000 | 15,000 |
| 未払法人税等 | 132,389 | 2,825 |
| 前受金 | 100,419 | 111,265 |
| 賞与引当金 | 10,616 | 21,723 |
| 受注損失引当金 | 5,784 | 15,209 |
| その他 | 62,121 | 110,543 |
| 流動負債合計 | 346,513 | 286,764 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 62,500 | 55,000 |
| 資産除去債務 | 12,272 | — |
| その他 | 2,613 | 2,435 |
| 固定負債合計 | 77,386 | 57,435 |
| 負債合計 | 423,899 | 344,199 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 817,374 | 819,694 |
| 資本剰余金 | 777,374 | 779,694 |
| 利益剰余金 | 852,991 | 750,902 |
| 自己株式 | △92 | △92 |
| 株主資本合計 | 2,447,647 | 2,350,198 |
| 純資産合計 | 2,447,647 | 2,350,198 |
| 負債純資産合計 | 2,871,547 | 2,694,398 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日) | 当第1四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 141,093 | 73,204 |
| 売上原価 | 41,047 | 41,346 |
| 売上総利益 | 100,045 | 31,857 |
| 販売費及び一般管理費 | 146,079 | 164,757 |
| 営業損失(△) | △46,033 | △132,899 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 24 | 100 |
| 補助金収入 | 36,865 | — |
| 受取技術料 | 777 | — |
| その他 | 5,190 | 37 |
| 営業外収益合計 | 42,858 | 137 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 125 | 108 |
| 為替差損 | — | 2,269 |
| 固定資産除売却損 | — | 9,425 |
| その他 | 12 | 193 |
| 営業外費用合計 | 137 | 11,996 |
| 経常損失(△) | △3,312 | △144,758 |
| 税引前四半期純損失(△) | △3,312 | △144,758 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,132 | 948 |
| 法人税等調整額 | △1,099 | △43,618 |
| 法人税等合計 | 32 | △42,669 |
| 四半期純損失(△) | △3,345 | △102,088 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|----------------|--------------|-------------------------|---------|--------------|------------------------------|
| | オプティカル 事業 | ライフ サイエンス・ 機器開発事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 136,456 | 4,637 | 141,093 | — | 141,093 |
| 計 | 136,456 | 4,637 | 141,093 | — | 141,093 |
| セグメント利益又は損失(△) | 49,211 | △33,353 | 15,857 | △61,891 | △46,033 |

(注) 1. 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|------------|--------------|-------------------------|---------|--------------|------------------------------|
| | オプティカル 事業 | ライフ サイエンス・ 機器開発事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 55,663 | 17,541 | 73,204 | — | 73,204 |
| 計 | 55,663 | 17,541 | 73,204 | — | 73,204 |
| セグメント損失(△) | △32,539 | △27,974 | △60,514 | △72,385 | △132,899 |

(注) 1. 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等であります。

2. セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。